

第七回ルーマニア、第一回ハンガリー大会の報告

6月5日から14日まで、ルーマニアとハンガリーで開催されました公共5S大会（掃除大会）に、清水徹さん、富田浩志さん、本間滋さん、そして田中義人・美鈴の5名で行って来ました。ルーマニアは、



7回目の大会、ハンガリーは1回目の大会です。

ルーマニアでは、三年連続のクルジナポカ市での開催となり、学校、行政、地元企業の協賛を得て開催されましたが、中でも地元企業のロッタプリント社のこの間の継続した清掃活動が下支えとなった大会でもありました。

日本と同様に、二日間にわたって開催されます。初日は、地元のホテルでの開会式に始まり、その後、1時間、日本での掃除の活動の話を行いました。続いて地元企業二社から活動の報告があり、その後、ワインの試飲会を兼ねての交流会となり、初日を終わりました。

翌、6日は、地元の George Cosbuc 学校での開催となり、昨年同様、8時には200名近い生徒たちが校庭に並んで私達を迎えてくれました。そして、開会式では、両国の国歌斉唱から始まり、その後、生徒による歓迎の寸劇があり、続いて、日本側の挨拶、学校長挨拶、地元代表挨拶と続き、その後、班別に別れて掃除場所に移動し、手際よく掃除が始まりました。特に、この一年間、地元のロッタ社長が中心に、父兄を巻き込んで、毎月、校内清掃が続けてきたことから、学校側からの信頼も厚く、総の校内が解放され、教職員も



地元企業に人たちも参加してトイレ、教室掃除は勿論、校庭整備、花壇づくりも行われ、約2時間の掃



除実習の総てがスムーズに進行していきました。そして、閉会式には、パンとバナナも用意され、日本と同様に和気あいの雰囲気となり、生徒もお互いに達成感を味合える大会となりました。特に、この学校は、小中高一貫校としての優秀校であり、ルーマニアでは注目校の一枚ですので、今後が楽しみです。

続いて、9日、ハンガリーへ移動しましたが、空港では、主催者のイッシトバンさんと市の幹部が、鍵山相談役の似顔絵の入ったプラカードを持って私達を迎えてくれたことに驚きました。そして、翌朝の10日、首都ブダペストから約1時間離れた地方都市のケチケメートのキシュクン市の議事堂にて小菅ハンガリー大使を招いて、第一回公共5S大会が開催されました。小菅大使からも、日本人の清掃に対する思いを語っていただくことが出来ました。そして、その後、日本での掃除の話をしていただき、みなさんに興味を持っていただくことができました。



翌、10日は、午前8時から市内の Dozsa Veyorgy 学校での掃除大会となり、この学校は、約40

0
全
て、
掲
踊
山



名の生徒が学んでいる小中学校です。開会式には、校生徒が正装をして私達を迎え入れてくれました。そして開会式の始めに、日本、ルーマニア、ハンガリーの国旗掲揚と国歌斉唱から始まり続いて、生徒たちによる民族舞の歓迎を受けました。

今回、初めてのことであり、入念な準備がされ、鍵相談役の写真入り案内ポスターも地域に配布されていて、

事前募集に応じた、80名の小学生、34名の教職員、50名の親と協賛会社社員、20名の行政関係者の184名の参加によって開催されました。開会式の後、小学生を中心に8班に分かれて約3時間の掃除でしたが、誰一人として現場を離れることなく掃除を続けられたことに驚きました。その掃除場所も、教室、グラウンド整備、ライン引き、フェンスペンキ塗り、遊具ペンキ塗り、自転車置き場整備、ベンチペンキ塗りと事前準備と人数割がしつかり出来ていました。そして、玄関横の掲示段には掃除の進行状況が一目で分かるようにされていて、全部所が終了した時をもって掃除終了となりました。その後、全員がそろって、掃除をした所を巡回してから、閉会式が始まりました。閉会式での雰囲気は、とってもいいものとなり、挨拶と感想発表された方々から喜びの話が続きました。そして、閉会式が終了した後、別室で、お母さん方の手作り料理による懇親会が開催されました。また、夕方には、私達、日本からの来た人たちの為にと、市長主催の歓迎交流会を国定公園内の有名レストランで開催していただきました。



今回、ハンガリーでは、初めての開催となりましたが、25年前までは社会主義の国であった為か、ボランティア活動が大変遅れていて、清掃大会は、初めてという人ばかりでした。特に、今回のように、職位や身分の差を問わず、お互いに助け合って、場を美しく、場を活かしていくことに大きな感動を持たれました。そして、市長も、校長も、職員も、子供たちも、全員が、これからも

続けていきたいと話されていたことが印象に残りました。

会長 田中義人